寮歌集の校訂について

千原　治（S50入寮）

１　「校訂」でよいか

〇広辞苑（岩波書店）より

・校訂…古典などの本文を、他の伝本と比べ合わせ手を入れて正すこと。

・校定…書物の字句などを比較して定めること。

・校合（きょうごう）…写本や印刷物などで、本文などの相違を他の本や原稿と照らし合わせてただすこと。

・校正…校正刷を原稿とひきあわせて、その文字などの誤謬をしらべただすこと。

・校閲…第三者の文書・原稿などに目をとおして正誤・適否を確かめること。

〇国語辞典（旺文社）より

・校訂…文章や字句の誤りを正すこと。特に、古典で本文の異同を比較し、原文あるいはよりよい本文を示すこと。

・校定…書物の文章・字句などを比較し、正しいと思われる本文を決定し示すこと。

・校合…①原本や原稿と比べ合わせ、間違いなどを訂正すること。②基準とした本と、ほかの本との違いを調べること。

〇漢語林（大修館書店）より

・校訂…書物の文字や文章の誤りを調べ正す。訂は、正。校正。校定。

・校合（きょうごう、こうごう）…（和製漢語）くらべあわせる。引き合わせて異同を調べる。

２　寮歌集について

・原本（作者自身の原稿或いは応募した原稿）を入手することは困難

・多くの寮歌集の比較検討は可能

・寮歌集の改訂の歴史を正確に把握する必要がある

３　大切なこと

・現寮の同意

・同窓会内での同意

・目的、検討内容、校訂基準（基本姿勢）の明確化

…担当者が最初に議論し文章化することが大切である

・歌詞の校訂、曲の校訂

４　歌詞の検討に関する具体例

〇藻岩の緑（明治44年寮歌）

三　あはれ「美の国」石狩の　自然を己が揺籃に

　　おほし立つ可き人皆の　　意気紅霓に似たるかな

　　一撃万里す大鵬の　　　　翼整装ふ思あり

　　①「紅霓」は「虹霓（にじ、竜の一種で雄は虹で雌は霓）」ではないだろうか

　　②「一撃万里す」か「一撃万里」か

〇春雨に濡る（大正12年寮歌）

一　春雨に濡るアカシヤ花　街路の灯はなやかに

　　地は銀鼠にたそがるる　寂かに歩む若人が

　　心にめざむ爽かの　　　灑み充てる力かな

三　仄青白き白樺や　　　　落葉ふむ音寂しくも

　　谷また谷を辿り行き　　今宵は淡き夢見んと

　　焚火を囲み歌ふ寮歌　　紫紺の闇に解けて行く

　　①「濡る」か「濡るる」か

　　②「灑み」か「灑ひ」か

・「灑」の読みは辞書的には（そそぐ、ひたす、したたる、ちる、サイ、ショウ）

　　③「焚火」は「たきび」か「ほだび」か　（「榾火…ほだび」）

〇桑楡哺紅に（大正14年桜星会優勝歌）

一　桑楡哺紅に彩なせる　　われ吾が戦友の血涙史

　　そは燎原の火と燃えて　今幽邈の曠野に狂ひ

　　凝視よ感激の胸と胸　　結び輝く雙眸を

　　①「哺」は「晡」ではないだろうか

〇悲歌に血吐きし（昭和30年寮歌）

序　悲歌に血吐きし我らもが　永劫不変を探求せんと

　　遥々漂泊来りても　　　　赤き浜茄子摘みとりて

　　悪魔牛耳り詩吟する　　　天下不仰の寂寥児

　　①「天下不仰」か「天下俯仰」か